

幸せなまちを実現 魅力磨き発展へ

高梨哲彦 大子町長 2期目就任インタビュー

12月に行われた大子町長選にて、高梨哲彦氏が2期目の再選を果たした。1期目には、台風による災害対応や新型コロナウイルス感染症対策に奔走、「町民を守るための努力を重ね決断してきた。皆さまの協力によって乗り越えることができた」とこれまでの4年間を振り返る。2期目の取り組みについては、令和元年東日本台風で被災した衛生センター1建て替えや防災道の駅、中心市街地の活性化などを挙げた。今後も町民や地域の建設業者と協力して『日本一幸せなまち』の実現に取り組んでいく。

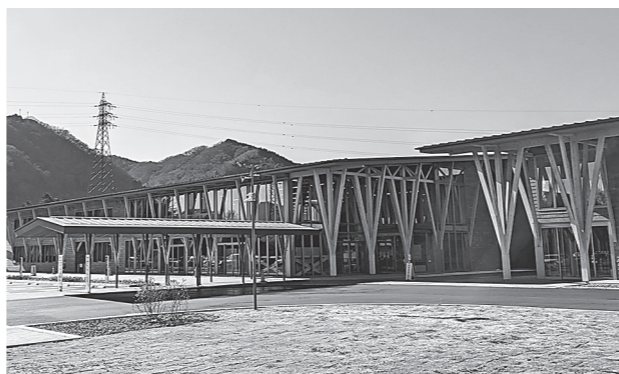
1期目を振り返り

2019年1月に町長に就任した9カ月後、令和元年東日本台風という未曾有の災害を経験しました。中心市街地を占む約600世帯が浸水したほか、国道118号や461号が通行できなくなりました。陸の孤島となってしまいました。災害の厳しさや町民を守る大変さを改めて認識しました。

復旧・復興に向けて、国や県に要望を重ねながら道路事業や河川改修を進めていただいています。何十年に一度の大規模な災害に備えるべく、国や県と詳細を詰めながら強靱化に取り組んできました。

災害復旧に取り組む中、今度は新型コロナウイルスの脅威を受けました。高齢化が進む町を守るため、早期の感染対策と経済対策を念頭に努力を重ねた4年間だったと認識しています。

また、復興の象徴とも言える新庁舎建



地域産材を多く使用した「地産地消」の新庁舎

設にも思い入れがあります。建設規模の見直しからスタートし、設計中に被災したことによって、北田気地区の高台への移転を決定しました。県産材約900㎡を活用した純木造庁舎は、規模や金額も大きいものでありますが、完成することができたのは皆さまの協力のおかげ

中心市街地の活性化推進



(たかなし・てつひこ) 1968年9月生まれ。54歳。大子町出身。新日東常務取締役などを経て2018年12月に町長初当選を果たす。趣味はロードバイク。多い時には1日に80kmほど走り、町の自然に親しむ。9月に供用開始した新庁舎には、これまでに約600人の視察が訪れる。「大子町にいらした際には、ぜひお気軽にお立ち寄りください」と呼び掛ける。



初登庁では決意を新たに

だと思っています。

もうひとつは、道の駅奥久慈だいが(町観光物産館)を23年ぶりに改修、リニューアルしました。コロナ禍という中でもオープン以来、最高の売り上げを更新するなど、多くのお客さまにお越しいただきました。

大子町には素晴らしい資源がたくさんあります。新しいものを建てるだけではなく、現存するものを磨き直すことも

地域と共に成長目指す

【防災道の駅・中心市街地の活性化】

21年に道の駅奥久慈だいがが、全国39カ所のひとつとして「防災道の駅」の選定を受けました。旧庁舎跡地への防災拠点の整備と合わせて、中心市街地の活性化に取り組んでまいります。

防災拠点には、ヘリポートなどの基本的な機能を備えるほか、イベントホールなどのにぎわい施設に向けては、ワークショップがはじまったばかりです。町民からの意見を取り入れながら、町の新たな魅力発信の場となるようにしていきたいと思っています。

【まちなか空き家対策】

常陸大子駅前まちなかでは、世代交代などによる空き店舗、空き家が多くなっています。そういった場所に、新しく若い力を投入していただくため、ハード・ソフトの両面で詰めていかなければなりません。ただ新しくするだけではなく、残すべきところはしっかりと残し、新しくしたいものには積極的に取り組んでいく。メリハリのある開発が必要だと思っています。

【国道118号・461号の整備促進】

町の南北の玄関口となる国道118号の整備は大命題です。利便性向上に向けて、引き続き国や県に要望を行ってまいります。

国道461号を経由し、大子町から西側に位置する那須塩原駅には新幹線が接続し、品川駅や仙台駅まで約70分移動できます。現状で大子町から那須塩原駅までの移動時間が60〜70分かかることを、半分ほどに短縮できればアクセスが格段に向上し、大子町のみならず東北地域や栃木県の関係自治体にとっても、非常にいい効果があると思っています。高規格な道路をはじめとする利便性

町の発展につながっていくことを再認識しました。

2期目の意気込み・抱負

【建設業者を支援に推進】

袋田の滝観瀧トンネルの照明リニューアルを今春に、防災対応型炊飯施設を9月ごろの供用開始を目指して工事を進めています。炊飯施設では災害時や給食に米飯を提供します。お米クランプリを獲得した町として、地元のお米をぜひもちにおいしく食べてもらいたいですね。

また、国の災害復旧補助金で建設中の衛生センター(1)尿処理施設、資源化施設は24年3月末までの竣工を予定しています。これらの事業を着実に進めていき、町民サービスの充実を図り、経済の発展につなげていきたいと思います。

【久慈川緊急治水対策】
河川改修や中心市街地における堤防の高上げなど、目に見えない形で進んできており、大変感謝しております。住民の安心・安全のため少しでも早く整備が進むよう、これからも頑張っていたきたいと思います。

【建設業者へのメッセージ】
建設業者の皆さまは、町民のライフラインを支えてくれる重要な存在だと認識しています。皆さまがいなかったら、まちの整備はもとより、町民の安全・安心は守れません。建設業と行政がお互いに持続していけるように、これからも意見交換をしながら、着実に成長していかなければなりません。

労働人口が減っていくことに対してDXや働き方改革など多くの課題について、話し合いを行いながら、一緒に頑張っていきたいと思っています。



多くの観光客でにぎわう道の駅

社会資本整備を通して 大子町の発展に貢献いたします

一般社団法人 茨城県建設業協会大子支部

支部長 大藤 博文

副支部長 椎名 義正 副支部長 藤田 強

(有)石井工務店
大子町頃藤 5766

牛木建設(株)
大子町矢田 16213

海老根建設(株)
大子町大子 183512

(有)大沢工務店
大子町大沢 231411

大森建設(株)
大子町上郷 1226

(株)角石
大子町頃藤 5016

(有)金沢建設
大子町田野沢 316

(有)サイトウ緑地開発
大子町大生瀬 669

(有)佐藤工務店
大子町大子 771114

(株)椎名工務店
大子町袋田 208014

(株)大子造園土木
大子町矢田 91011

(株)大藤組
大子町小生瀬 405312

(株)袴田工務店
大子町上郷 1346

(株)藤田工務店
大子町池田 2804

(有)益子
大子町頃藤 363912

益子建設(株)
大子町上野宮 814

(有)益子工務店
大子町初原 543

(株)野内
大子町矢田 812

吉原建設工業(株)
大子町矢田 496

一般社団法人